

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

内サイドをガイドし、外側ローラー 18 によって

1枚づつ分離されるとともに、記録シート 5 は、
によって定位置され、排出ローラー 19 によっ
て送出されるよう構成されている。

第 2 カバー B は、ファードローラー 10、インクシ
ートガイド 15 と、ファードローラー 11 と、予
備送ローラー 12 における双方のローラーとを有す
る。

インクシートローラー 17 を回す場合、第
5 図に示すように、カバー A のみを開いた状態
で、図中、矢印 A 方向に移動させて記録を行なう。
このようにすることによって、記録シート 4 をセ
ットしたまま、インクシートローラー 17 を差し
できる。

次に、送り外側から投入する第 2 記録シートの
カセット化について説明する。

第 7 図は、ロール状に巻き取ったロールシート
7

を第 2 の記録シートと組合した場合のカセットの

一例を示す図である。第 8 図は、送り外側にロ
ールカセット 5 を組合した状態を示す図であ
り、第 9 図は、第 8 図における記録側である。

記録シートローラー 5 は、記録シート保持テー
ブ 25 が貼付されたカーブ部分 25 に取付さ
れ、記録シートは、ガイド 25 と 25 との
間と、ガイド 25 と 25 の間に穿通って、送
り外側の第 2 記録シートをローラーへ導かれる。ま
た、カセットカバー 25 は、ど

もに開閉可能であり、記録シート 5 の差し操作、
セットを容易にしている。

カセット 5 のフック部 25 とカバー B のスリ
ーブ 3 と、ドライバ 8 と、記録側面 6 5
と、カバースイッチ 4 と、記録側面 6 5
ドロ とを構成する。

操作部構造 6 は、表示部 2 6 を表示するとと
り、カバースイッチ 4 と、4 0 と、記録ヘ
ッド 5 とを構成する。

操作部構造 6 は、表示部 2 6 を表示するとと
り、カバースイッチ 4 と、4 0 と、記録ヘ
ッド 5 とを構成する。

(第 1 図) を通り、カセット抽出スイッチ 2 2 を
操作せざるよう構成されている。カセット 5 の
カセットカバー 2 5 とを通用にすれば、中に収納
されている記録シートローラー 5 の状態を確認で
き、見易いことができる。

第 10 図は、上記操作部を構成する部品を示
すプロック図である。

この実施例は、記録全体を回転する C P U 5 0
と、頭を回転する N C U 5 1 と、並列構成するモ
デム 5 2 と、データ処理部 5 3 と、モードム 5 2 を制
御するモード制御部 5 4 と、第 11 図一般 1 3 図
に示すプログラムを格納してある ROM 5 5 と、
帶裏用として使用する RAM 5 6 とを有する。

C P U 5 0 は、送り外側から投入する第 2 の記録
シートの初期に応じて記録セードを切換える機能
9

送りカタログを発行するものであり、各モード
は、回転しない電動送り装置によって、それそれ
フランジローラー 8 と、ファードローラー 11 、
12 、カセット 9 、補助ローラー 10 、インクシ
ートガイド 17 と、ファードローラー 12 に駆動力を
伝えるものである。

次に、上記実施例の動作について説明する。
第 11 図は、上記実施例において、記録シート
4 をセットする動作を示すフローチャートであ
る。

まず、記録シート 4 をセットする場合、カバ
ーを開放する。そして、第 6 図に示すように、操作
部 C の設置箇所に収まるようにカセット 5 を差し
込む。しかも風扇送風台 18 の裏面のいやわ
るダッシュペースに設置するので、操作の設置箇
所 8

に閉じられていることをカバースイッチ 4 、
4 0 と操作すると(S 3 、S 4)、自動的にシ
ート定位位置の初期化動作を行なう。

この初期化を行なう場合、オフィードローラ
ー 11 、予備送ローラー 8 と、フランジローラ
ー 10 を開放すると(S 3 、S 4)、自動的にシ
ート定位位置と定位方向に回転し、記録シート 4 を所
定位置に回転し、記録シート 4 を所定位置に保
持(S 5)。カセット 5 の記録シート 4 をカット(S 5)、カ
ット後の記録シート 4 を送風ローラー 10 によ
り、送風外に排出するとともに、フランジローラ
ー 11 、3 6 の位置を開放し、第 4 図に示すよ
うに、カバー A 、B を開放し(S 1)、本体 C の記
録シートボルト部に記録シートローラー 5 を取
り、そのシート先端を、シートガイド 17 に沿っ
てブランシローラー 8 の上を走らせる。カットリリ
ー 11 と上記と逆方向に回転し、記録シート 4 の先
端を回転位置まで戻ら(S 7)、待機状態にする
6。

次に、送り外側から第 2 の記録シートが投入し
た場合の動作について述べる。

第 12 図は、上記実施例において、送り外側か
ら第 2 の記録シート 5 が投入する場合の動作を示
す。

ナフローティングである。

まず、第 2 の記録シート 5 を送り外側から投入さ
せ(S 10)、記録シート保持部センサ 1 6 と、
記録シート 5 の投入を検出すると(S 11)、
ファードローラー 11 、予備送風ローラー 6 、ブ
ラシシローラー 8 を逆回転(第 2 回の定位方向)
逆回転し、記録シート 4 と、ファードローラー
1 1 と予備送風ローラー 6 との間に中間位置付
近の移動位置まで戻す(S 12)。そして、ファ
ードローラー 14 を回転して記録シート 5 を回送
し(S 13)、シート先端がエッジセンサ 4 にか
かるまで送り込む(S 14)。次に、記録シート
7 と、頭を回転する N C U 5 1 と、並列構成するモ
デム 5 2 と、データ処理部 5 3 と、モードム 5 2 を制
御するモード制御部 5 4 と、第 11 図一般 1 3 図
に示すプログラムを格納してある ROM 5 5 と、
帶裏用として使用する RAM 5 6 とを有する。

記録シート 5 がカットシート 4 であれば
シート抽出センサ 2 2 、インクシート右端検出セン
サ 1 9 から信号を受けるものである。カバース
イッチ 2 がロールレートカセット 5 を検出しなけ
ば、記録シート 5 がカットシート 4 であると判別
する。

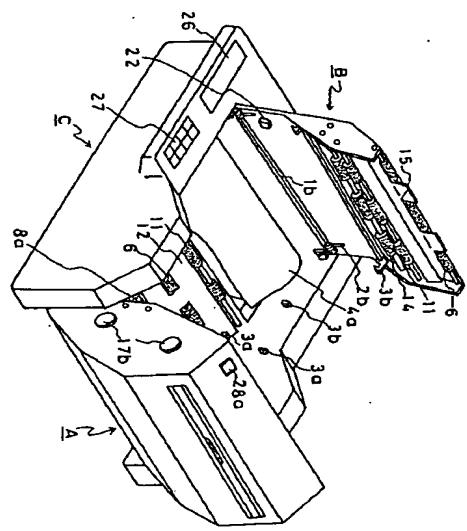
5 の機能を引出す。つまり、カセット抽出スイ
ッチ 2 がロールレートカセット 5 を検出しなけ
ば、記録シート 5 がカットシート 4 であると判別
する。

記録シート 5 がカットシート 4 であれば、
ここで、インクシートローラー 17 は、フラン
ジローラー 8 の動きと同期して正転、送風を行な
い、記録位置における記録シートと全く同じ動作
をインクシート 17 が行なうので、以下の動作

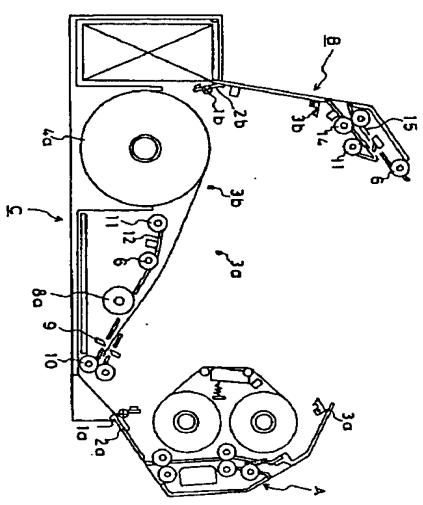
説明において、記録シートに着目し、インクシ
ート 17 の動作説明を図示的に省略する。

次に、上記実施例における記録動作について説
明する。

第3図

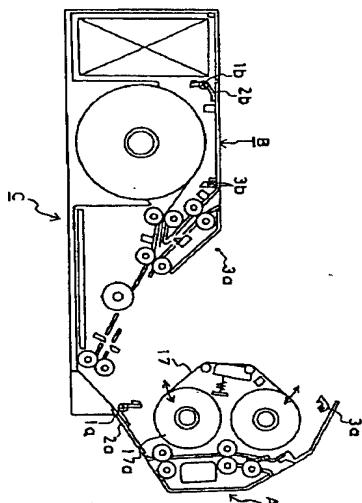


第4図

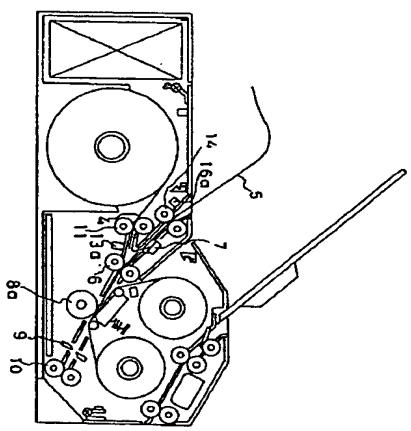


-425-

第5図

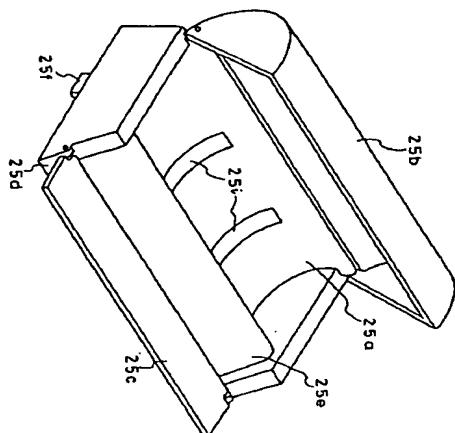


第6図

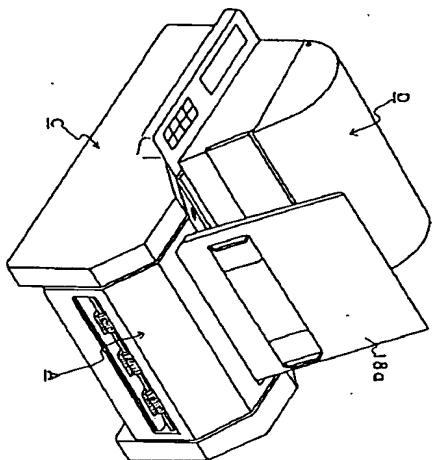


-426-

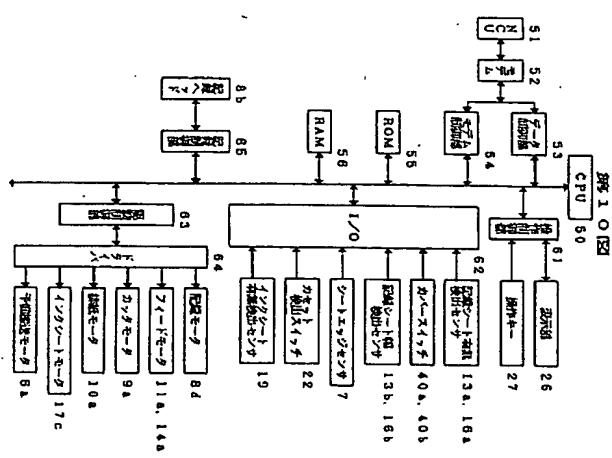
第七回



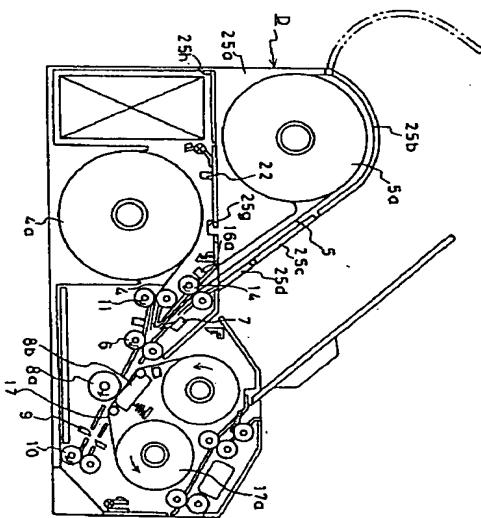
卷八



—427—



城6
五



特開平 1-145961(12)

図 1-2

図 1-3 図 (2)

図 1-3 図 (3)

図 1-3 図 (4)

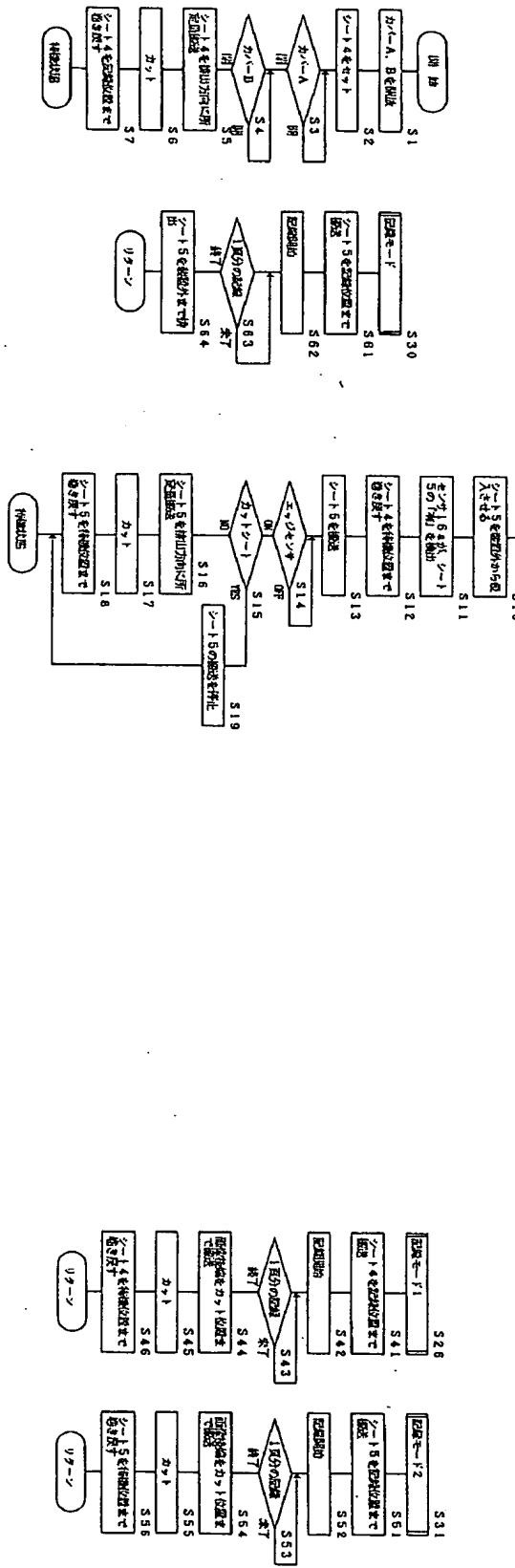
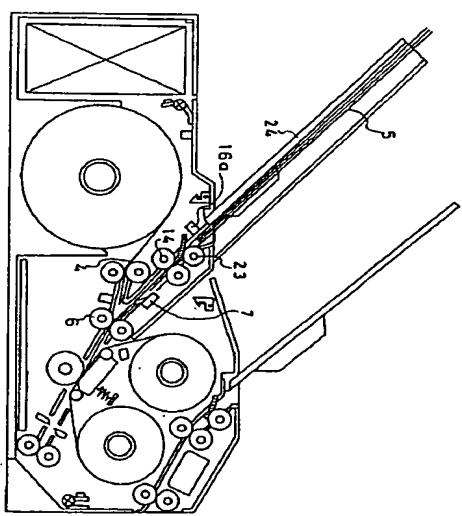
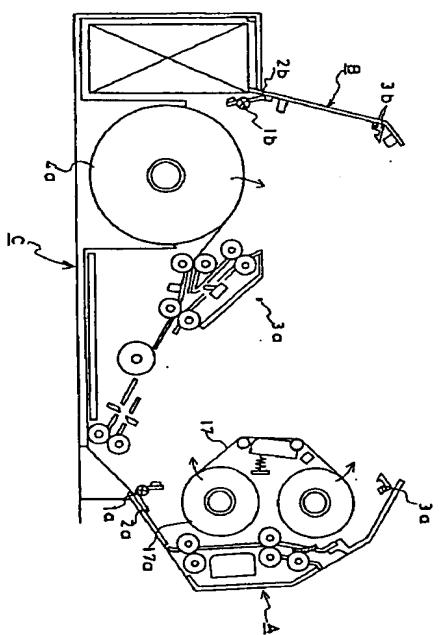


図 1-3 図 (1)

第14圖



第15図



第16図

